

## 令和9年度予算への要望書

団体名	一般社団法人 川崎市商店街連合会
役所の担当部局名	経済労働局観光・地域活力推進部
件名	プレミアム商品券事業の継続実施と消費者への還元について
○印を付けてください	<input checked="" type="radio"/> 新規 <input type="radio"/> 継続
<p>要望内容</p> <p>今年度、川崎市ではプレミアムデジタル商品券事業（発行総額約104億）が実施されました。利用状況は今後の発表を待つこととなりますが、出来るだけ多くの方に商品券を購入していただき、物価高騰対策に役立てられることを願います。</p> <p>今回中小事業者専用券が設けられ、大型店利用に流れがちな商品券利用が商店街の主力となる中小店舗にも広がる可能性があり、商店街関係者としては期待が高まる場所です。</p> <p>この事業は国の交付金を活用した事業で、需要喚起策として一定の効果があると考えており、物価高騰の落ち着きが見えない中、来年度以降も国の交付金などを活用し継続実施を希望いたします。</p> <p>また、2年前の令和6年度にも同様の事業が行われましたが、その時は商品券の未利用分が発生しました。川崎市の説明では、未利用の余剰額は市の本予算に戻入され、市の様々な施策に活用されると伺いましたが、消費者が支払った購入代金ですので、特定の財源として購入者に還元される方法を検討いただきたいと思います。</p>	

